

第 16 回 JWRC 水道講座のご案内

1. 主催 : 公益財団法人 水道技術研究センター
2. 協力 : Japan-YWP
<http://www.japan-ywp.site/index.html>
3. 日時 : 令和 4 年 2 月 17 日 (木) 14:00~16:00
4. 開催方法 : Web 開催 (Zoom アプリを利用)
5. プログラム (内容については一部変更する場合がございますので予めご了承下さい。)

受付開始 13:30~		
主催者挨拶	(公財) 水道技術研究センター	14:00~14:05
協力者挨拶	Japan-YWP	14:05~14:10
① 昨今の水災害の特徴と対策および水道の観点から見た水災害	富山県立大学 環境・社会基盤工学科 防災水工学研究室 准教授 呉 修一	14:10~15:00 (発表 45 分, 質疑 5 分)
(休 憩) 10 分		
② 想定を超える災害で水供給に期待されること	京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 災害情報システム研究領域 教授 畑山 満則	15:10~16:00 (発表 45 分, 質疑 5 分)

6. 定員 : 200 名
7. 参加対象者 : JWRC 会員、Japan-YWP 会員、水道事業者及び関連団体、学生
8. 参加費 : 無料
9. 申込方法
受講申込書を web ページよりダウンロードいただき、必要事項をご記入の上メール (kouza@jwrc-net.or.jp) にてお申込み下さい。定員になり次第締め切りますので、ご注意下さい。
10. 申込期限 : 令和 4 年 2 月 3 日 (木)
11. その他
 - ・ 新型コロナウイルス感染症等の状況、社会情勢を鑑み、本講座を Web での開催といたします。
 - ・ 単独の団体・所属からの申込者多数となる場合は、参加者数の調整をお願いすることがございます。

講師プロフィール

呉 修一 講師（富山県立大学 環境・社会基盤工学科 防災水工学研究室 准教授）

➤ 略歴

- ・2008年3月 中央大学大学院理工学研究科博士後期課程修了、博士(工)
- ・2008年5月 米国カリフォルニア大学デービス校 博士研究員
- ・2012年4月 北海道大学大学院工学研究院 博士研究員
- ・2012年10月 東北大学災害科学国際研究所 助教
- ・2016年4月 富山県立大学環境工学科 准教授、現職にいたる

➤ 講演にあたっての講師コメント

近年、地球温暖化の影響で水災害が頻発しています。私は河川氾濫の観点から水害調査や洪水氾濫解析を実施し、流域治水オプション、温暖化適応策の提案に取り組んでいます。洪水氾濫解析の見せ方（次世代ハザードマップ）や、ダム貯水池からの利水容量の事前放流の方法などを提案しています。発表では、最近の水災害の特徴や新たに始まった流域治水に関して説明したいと思います。

水道に関しては、全くの素人なので今回の発表はただただ恐縮なのですが、水災害現場で見てきた水道被害、水利用状況などに関して報告させていただきます。また水道法の改正と我々水工学の関係を整理してみたいと思っています。最後に流域治水で水道の観点から何か取り組むことが出来ないか？この点を皆様と議論できるような内容を含めたいと考えています。皆様、どうぞよろしくお願い致します。

畑山 満則 講師（京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 災害情報システム研究領域 教授）

➤ 略歴

- ・2000年3月 東京工業大学大学院総合理工学研究科博士後期課程修了、博士（工学）
- ・2000年4月 京都大学防災研究所 中核的研究機関研究員
- ・2002年4月 京都大学防災研究所 総合防災研究部門 助手
- ・2005年4月 京都大学防災研究所 社会防災研究部門 助教授
- ・2007年4月 京都大学防災研究所 社会防災研究部門 准教授
- ・2016年5月 京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 教授、現在に至る

➤ 講演にあたってのコメント

災害対応は、災害の規模によって大きく異なります。気候変動の影響でこれまでの想定を超える災害の発生頻度が高まることが予測される中で、事業継続や災害対応において水供給に期待される内容や考えられる対応策についてお話しします。

【 申込問合せ先 】

（公財）水道技術研究センター 調査事業部 渡辺・中野

TEL：03-5805-0264

申込先 e-mail：kouza@jwrc-net.or.jp